

2006年6月15日(木曜日)

美しい環境を次の世代に

私たちの暮らす福井県は、「越山若水」という言葉に象徴されるように、美しい緑、清らかな水など豊かな自然環境に恵まれています。

しかし、私たちが生活していく中で、地球温暖化や廃棄物の増加など様々な問題が起きてきています。

この環境を将来へと引き継いでいくために、私たちに今できること。身近なことから始めましょう。



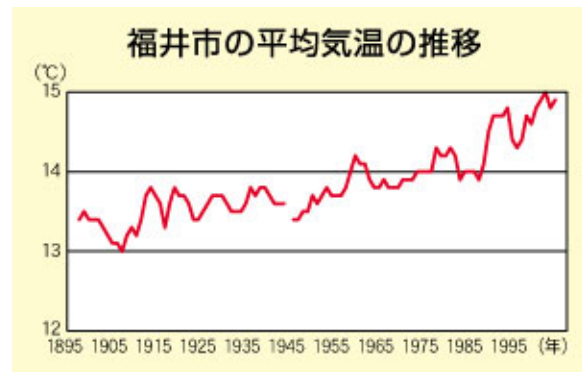
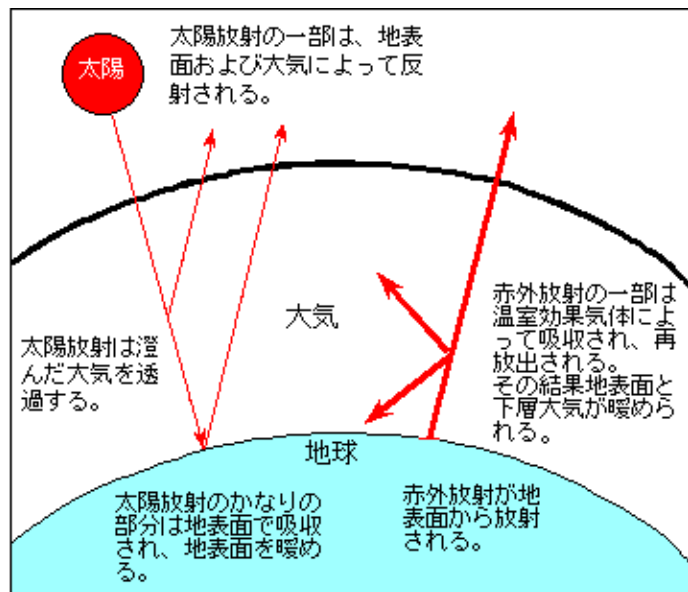
自転車通勤で健康的 環境にも優しい

地球温暖化とは

大気中には、二酸化炭素・メタン・代替フロン類など、太陽から地球に入ってくるエネルギー(可視光線)は通すが、地球から宇宙へ放出される熱(赤外線)は吸収する物質が、微量に含まれています。

このような物質を「温室効果ガス」と呼びます。温室効果ガスの働きによって、地球は、人間や動植物が生存できる気温に保たれています。

しかし、近年、生活が豊かになるにしたがって、温室効果ガスを多く発生するようになり、地球全体の温度が上昇しています。このまま上昇すると、地球の環境が大きく変わってしまうのです。この現象を「地球温暖化」といいます。



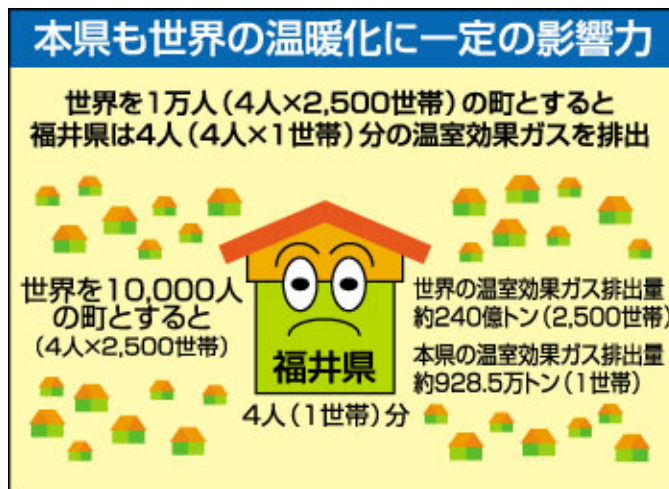
近年、二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出量が急増し、福井市でもこの100年間で平均気温が1.4°C上昇しています。

地球温暖化ストップ県民運動の展開

県では、京都議定書の発効等を受けて、今年3月、「福井県地球温暖化対策地域推進計画」を改定しました。計画では、平成22年度の温室効果ガス排出量を平成2年度に比べて3%削減するとの目標を掲げています。平成15年度の二酸化炭素の部門別排出量を平成2年度と比較すると、自動車等:37.1%、家庭:28.3%、オフィス等:54.8%とそれぞれ増加しています

京都議定書とは

地球温暖化防止という国際的な課題に対応するため、平成9年12月に京都で開催された「気候変動枠組条約第3回締約国会議」で採択され、先進国の温室効果ガスの排出削減目標が定められています。平成17年2月16日に発効しました。



そこで、県では、身近なところで自分たちができることから地球温暖化防止に取り組んでもらおうと、県民や事業所、行政等が一体となって、温室効果ガス排出量の削減目標の達成に向けて、地球温暖化ストップ県民運動「LOVE・アース・ふくい」を展開しています。

6月4日には、その開始大会を開催し、地球温暖化防止の重要性をアピールしました。



「LOVE・アース・ふくい」開始大会の様子

「LOVE・アース・ふくい」




県民や事業者が

Life 日常生活
Office 事業活動
Vehicle 自動車利用
Education 環境教育

の分野において、温室効果ガス削減に向けた活動の輪を広げる県民運動として「LOVE・アース・ふくい」を展開します。

県民の皆さんや事業者の方々に、電気をこまめに消すことやエコドライブなど身近な省エネの取組みを「わが家のエコ宣言」や「わが社のエコ宣言」という形で宣言・実践していただき、この運動を継続し、大きな県民運動につなげていきたいと考えています。

身近にできる省エネの取組み事例

<p>エアコン（冷房）の使用時間を 1日1時間減らすと</p> <p>(1台あたり70日で) CO₂ 排出量 約17kg 削減 電気代 約1,210円 節約</p> <p>-1時間</p> 	<p>エアコン（冷房）の設定温度を 1℃控えめにすると</p> <p>(1台あたり70日で) CO₂ 排出量 約13.5kg 削減 電気代 約980円 節約</p>  <p>-1℃</p>	<p>テレビの見る時間を1日1時間 減らすと</p> <p>(1台あたり1年間で) CO₂ 排出量 約17kg 削減 電気代 約1,260円 節約</p>  <p>削減</p>
<p>テレビを見ない時は主電源 を切ると（1日7時間）</p> <p>(1台あたり1年間で) CO₂ 排出量 約1.9kg 削減 電気代 約130円 節約</p> 	<p>こたつの設定温度を 高から中へ下げると</p> <p>(1台あたり4ヶ月で) CO₂ 排出量 約18kg 削減 電気代 約1,310円 節約</p> 	<p>蛍光灯の使用を1日1時間 減らすと</p> <p>(1灯あたり1年間で) CO₂ 排出量 10kg-CO₂ 削減 電気代 約700円 節約</p> <p>-1時間</p> 
<p>冷蔵庫に物を詰め過ぎない よう整理に心掛けると</p> <p>(1台あたり1年間で) CO₂ 排出量 約88kg 削減 電気代 約6,380円 節約</p> 	<p>掃除機のフィルターを こまめに掃除すると</p> <p>(1台あたり1年間で) CO₂ 排出量 約6kg 削減 電気代 約430円 節約</p> <p>フィルター交換して…</p> 	<p>洗濯はできるだけ まとめ洗いをすると</p> <p>(1台あたり1年間で) CO₂ 排出量 約9.5kg 削減 水道代 約3,090円 節約</p> 

また、県ではより一層の省エネを進め、環境への負担を減らそうと、太陽光発電や風力発電などの新エネルギーの導入にも積極的に取り組んでいます。市町と連携して、太陽光発電設備や屋根融雪・雨水再利用設備などの設置や低公害車の購入に支援を行っています。(受付期間等は市町によって異なります)

「もったいない」は地球に優しい

現状のペースでごみの排出が続くと、平成22年度の県民1人1日当たりのごみ排出量は1040グラムに達すると予測されています。

そこで、県では今年3月に廃棄物処理計画を改定し、平成22年度の排出量を予測値から100グラム減らして、940グラムに抑える目標を立て、様々な取り組みを行っています。

特に家庭から出るごみのうち、生ごみの占める割合が約4割と高く、県では、

家庭で買い過ぎや作り過ぎをしないよう呼びかけるとともに、これまで捨てていた調理くずを上手に使い切る調理法の普及・啓発に取り組みます。

また、宴会など外食の食べ残しを減らすため、メニューに小盛を加えたり、食べきれない料理のうち食中毒の危険性の少ない料理を持ち帰れるようにしようと「おいしいふくい食べきり運動」を展開します。



心を込めてつくったものだからきちんと食べる

クールビズで快適な夏を

6月は環境月間。県も「広げよう 優しい配慮を環境に」をテーマに様々な行事を行っています。

多くの県民の皆さんにご参加いただき、「クリーンアップふくい大作戦」として、県内各地で清掃活動等が行われました。

また、6月1日から9月30日までの期間、県では多くの事業所の理解と協力を得て、冷房温度の適正化(28℃)と軽装(ノーネクタイ、ノー上着)に取り組む“クールビズ”を推進しています。

また、ノーマイカーデーの実施や公共交通機関の利用、自転車通勤など積極的な自転車利用についても、県民の皆さんの積極的な参加をお願いします。



クリーンアップふくい大作戦(6月4日、あわら市波松海岸)

一人ひとりの取組みを大きな輪に

美しい地球、すばらしい郷土を次の世代に受け継いでいくことが今を生きる私たちに課せられた使命です。

環境と調和した持続可能な循環型社会をつかっていくために、県民、事業者、行政等が協力しながら、それぞれができることから取り組むことによって、地球環境保全に向けた活動の輪が広がっていくよう、ご協力をお願いします。

この記事に関するご意見・お問い合わせは

県環境政策課 TEL0776(20)0301 県廃棄物対策課(リサイクル推進室) TEL0776(20)0382

までどうぞ

